

# 学校レポーター's コラム

今月の小・中学校レポーターは、  
本川根小学校のみなさんです。

## 「はじめての3時間のたび」

千澤 竜馬

ぼくは、前の日の夜、のりものたんけんが楽しみでねむれませんでした。金谷えきで、JRのきっぷを買うとき、上にある「子ども」と書いてあるボタンをおしてきっぷを買いました。

ドキドキしたけど、楽しかったです。

## 「音の彫刻づくり」

堀吉 菜生

わたしたち3年生は、「音の彫刻づくり」をしました。

奥泉の海野さんに教わりながら彫刻を作りました。

音の彫刻づくりをしておもしろかったことは紙をちぎって、はっぱに色をぬったりしたこと。いろいろな色をぬっておもしろかったです。

## 「ねんりんピックに行つて」

大村 綾

10月28日にエコパで開催された「ねんりんピック2006」で本

川根小学校5・6年生は、京都府を応援しました。

私は、ソフトテニスに出場する人に手紙を出し、エコパの会場で応援しました。ソフトテニスのみなさんが笑顔で「ありがとう」と言ってくれて、とても嬉しかったです。その後も、手紙で文通を続けています。



ねんりんピックで京都府を応援しました

## 「ホストファミリーのやさしさに触れた修学旅行」

冬の寒さに負けず走り回って遊ぶ子どもたち  
(1月上旬 中央小に取材でお邪魔した際に撮影しました)

12月6日から5日間、私達2年生はサイパンへ修学旅行に行きました。サイパンではいろいろな出来事がありました。ホームステイが一番印象に残っています。

修学旅行2日目にGCA(グレース・クリスチャン・アカデミー)との学校交流会が行われました。それぞれの出し物を披露してから、ホストスチューデントの紹介へ。私のパートナーは、ブローク・サブランという中学2年生の女の子でした。とにかく英語なんてほとんど話せない私は、内心とても焦っていました。

どうやって接していいのか不安になっていたら、ブロークはふり返ってニコリと微笑んでくれ、「Are you OK?」と優しく気遣ってくれました。

食事が終わって家に戻り、ブロークとチェルシーと共に部屋でのんびりしました。2人に絵を描いて頼まれ描くと、とても喜んでくれて、しまいは部屋に飾るとまで言ってくれました。

私は言葉はわからなくても、絵を描くことや、一緒に遊ぶこと、そういった行動の一つ一つで共有できる楽しみがあることに感動しました。

振り返ってみれば、私は不安になったときや寂しいとき、ホストファミリーたちの笑顔にたくさん安心させられました。ホームステイで触れた人々の優しさ、心遣いをこれからも忘れず、これからの自分に生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

川根高校レポーター

川根高校 2年

西村 文香 さん

